

盛り土情報3D管理

CIM技術として展開

西松建設

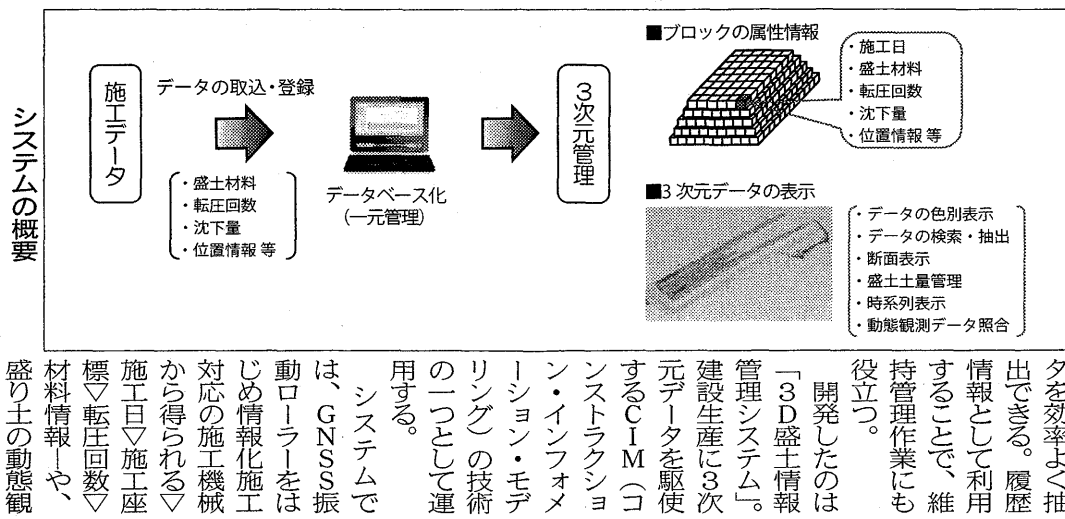
西松建設は30日、3次元データを含めた盛り土の施工データに加え、盛り土の材料情報、沈下量、動態観測の記録、全体の3次元モデルなどをデータベース(DB)化してあり、必要な情報・データを効率よく抽出できる。履歴情報として利用することで、維持管理作業にも役立つ。

測と沈下量のデータをD水平断面の表示、施工状況の表示が可能。そのデータは3次元モデルがベースになっており、2次元(横断面、縦断面、過程をアニメーションで

時系列に再現できる。土をすべて照合する必要が量計算の結果や沈下の情報を踏まえたより最適な盛り土計画の立案にも活用できる。施工日、施工条件、土質などが検索・表示できるため、工事履歴として維持管理に生かすことも可能だ。

これまでの転圧、材料、動態観測などの情報を個別に管理していた。全体を把握する際にはデータをすべて照合する必要があり、特定の情報を引き出すには多くの時間、労力がかかっていた。システムの稼働によって、施工・品質管理の水準がさらに上がるとみている。

同社は生産活動の効率化を目的にCIMに関する取り組みを推進中で、システムはその柱の一つとして活用していく。



開発したのは「3D盛り土情報管理システム」。建設生産に3次元データを駆使するCIM(コンストラクション・インフォメーション・モデリング)の技術の一つとして運用する。

システムでは、GNS振動ローラーをはじめ情報化施工対応の施工機械から得られる▽施工日▽施工座標▽転圧回数▽材料情報▽や、盛り土の動態観

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| ⑥建設工業 | | |